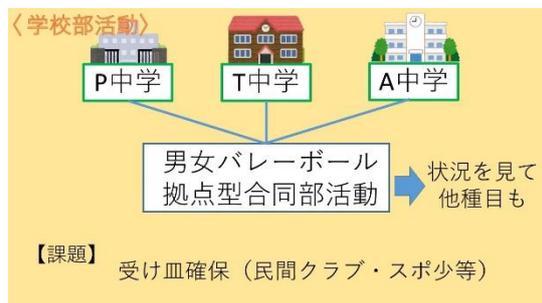


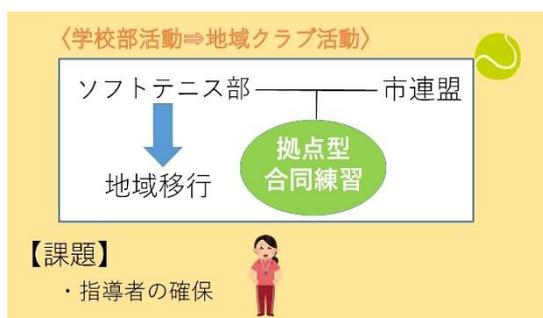
地域連携・地域移行イメージ図



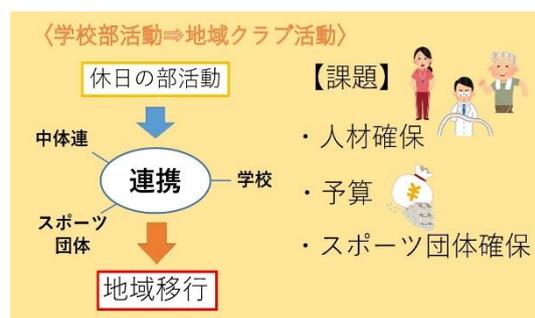
- ・部活動に部活動指導員を配置し、地域連携を行う。



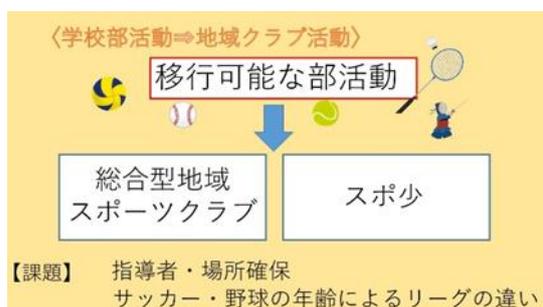
- ・3つの中学校のバレーボール部が、一堂に会して拠点型部活動として活動する。



- ・市内中学校のソフトテニス部を対象に、市ソフトテニス連盟の協力のもと拠点型合同練習を行う。



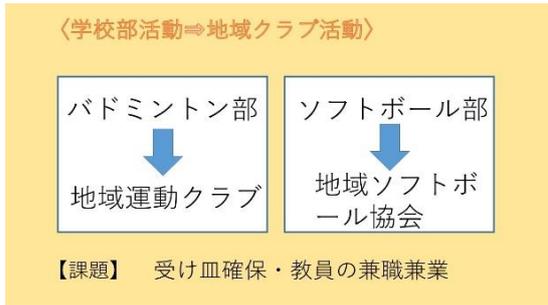
- ・中学校、中体連と地域スポーツ団体が連携し地域移行を進める。



- ・町内のスポーツ協会と連携を取り、受け入れ団体と指導員の確保に取り組む。



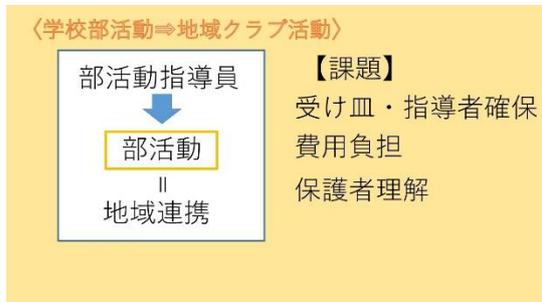
- ・中学校の柔道部が段階的にスポーツ少年団に地域移行。指導者はスポーツ少年団の指導者が担う。



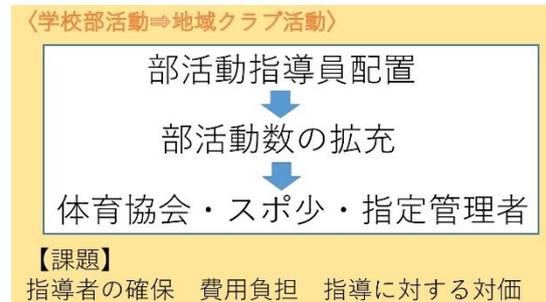
・町内中学校の移行可能な部活動から、総合型地域スポーツクラブ、もしくはスポーツ少年団に移行していく。



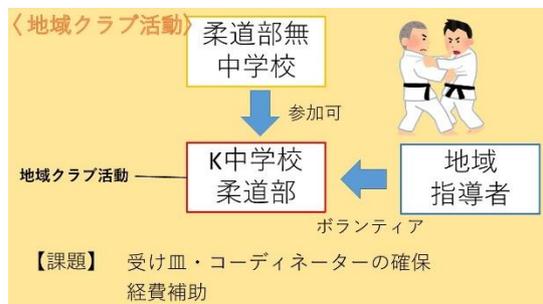
・部活動指導員を配置して地域連携を行い、スポーツ少年団へ移行する準備をしていく。



・部活動指導員を配置する地域連携をスタートし、段階的に地域移行へ切り替えていく。



・部活動指導員を市内全中学校に配置し、地域連携を進める。管理運営団体を配置し、モデル校において休日の部活動の段階的な地域移行を進めるための準備を行う。



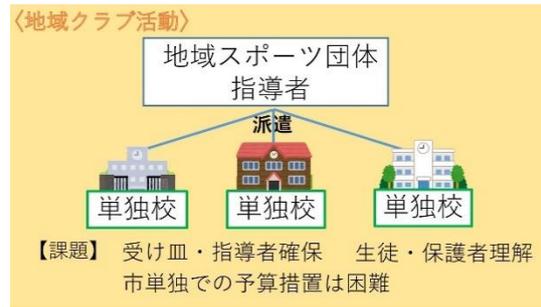
・K 中学校の柔道部に市内の柔道部のない学校から参加可能とし、地域クラブとして実施する。地域の指導者も参加する。



・A、B 各中学校吹奏楽部が公民館等の公共施設に集まり、そこに吹奏楽連盟から指導者を派遣し、指導を行う。



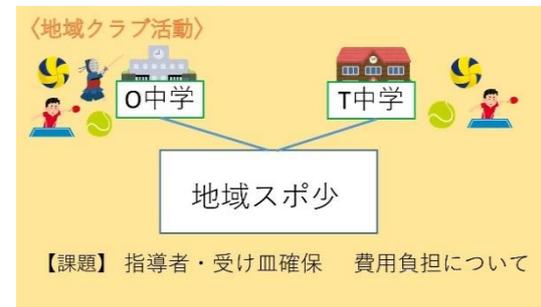
・Y中学校剣道部の休日の部活動について、地域のスポーツ少年団が試験的に地域移行を実施する。



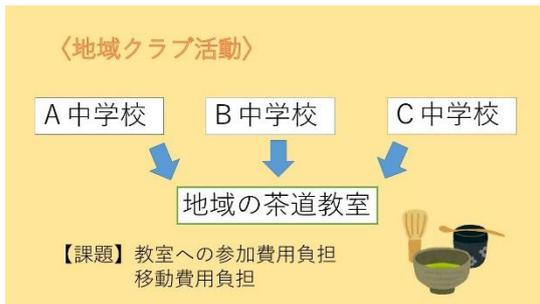
・総合型地域スポーツクラブを運営団体として、各中学校へ指導者を派遣し、地域移行につなげていく。



・市内3つの中学校が総合型地域スポーツクラブとの合同練習を開始。3年生引退後2校は廃部。残りの1校と総合型地域スポーツクラブが合同で練習を行い、地域移行のモデル活動を行う。



・O 中学校卓球部、剣道部、ソフトテニス部、バレーボール部、T 中学校バレーボール部、ソフトテニス部、卓球部がT町スポーツ少年団に移行をする予定。



・地域の茶道教室が、A、B、C 各中学校から希望者を集めて指導を行う。



・町内のスポーツ協会と連携し、受け入れ団体と指導員の確保に取り組んでいく。